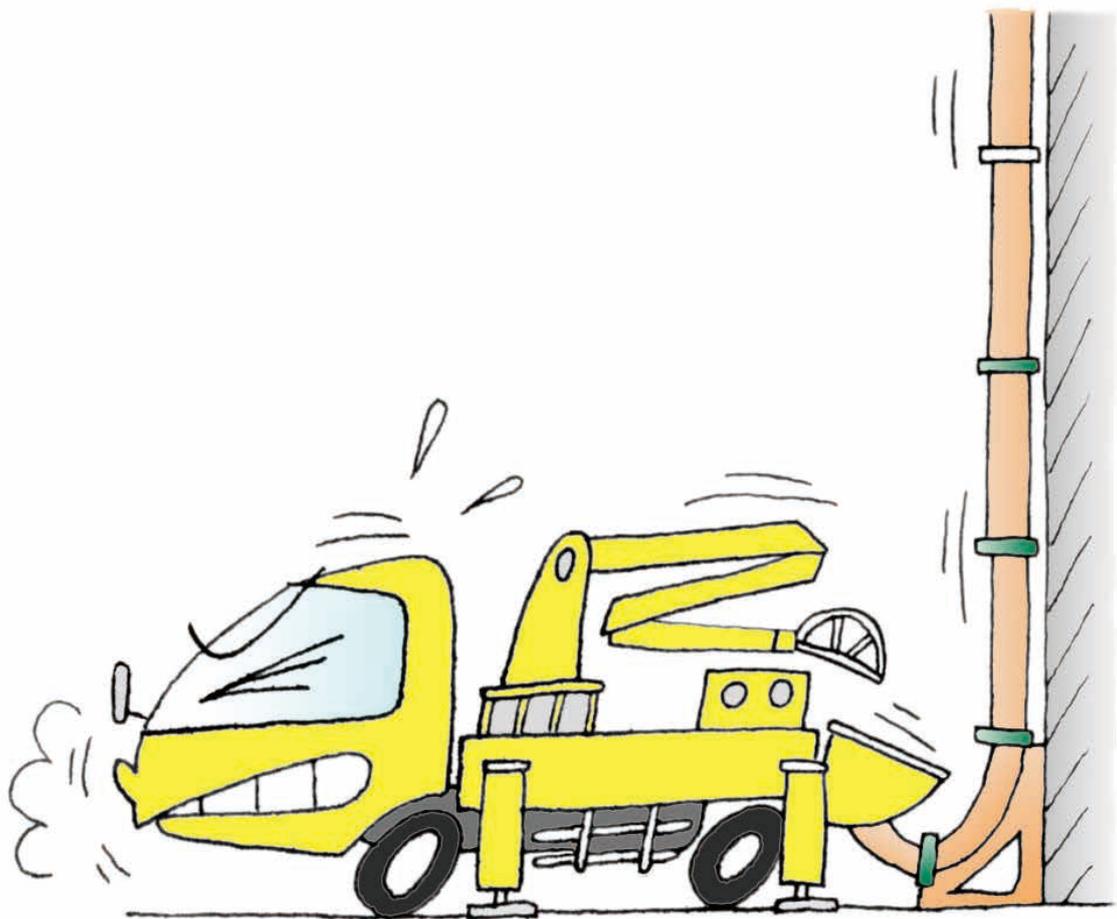


『コンクリート圧送施工業務』 安全衛生のポイント

コンクリートポンプ車の操作作業時の注意

(1) コンクリートポンプには高い圧力がかかる

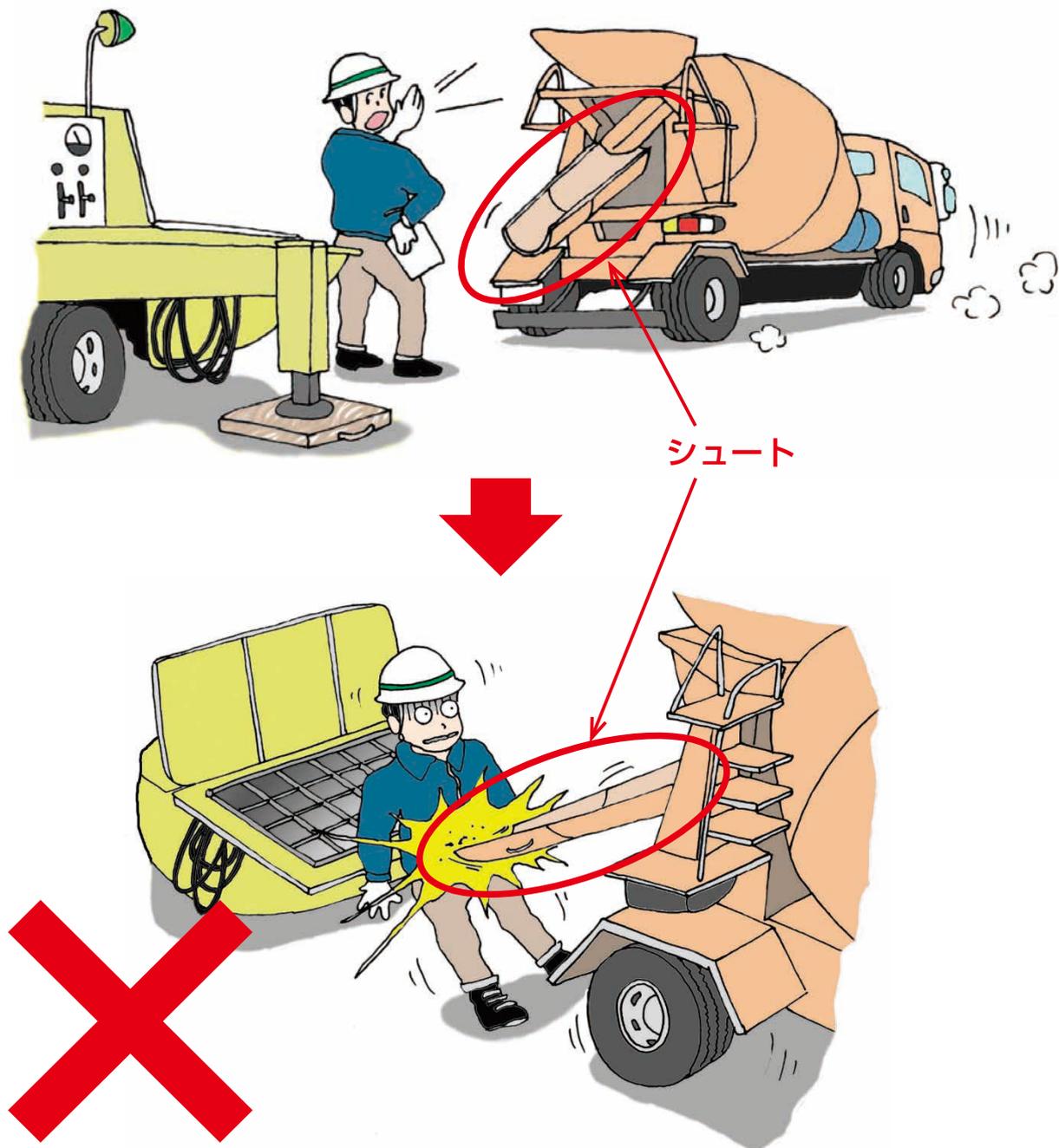
コンクリートポンプは、高い圧力をかけて生コンクリートを圧送する危険な作業です。圧送するために必要な圧力が高いほど、輸送管の破裂などの事故の危険が増すことを認識して、作業を行ってください。



高い圧力で生コンクリートを圧送するコンクリートポンプ車

(2) 生コン車の誘導は行わない

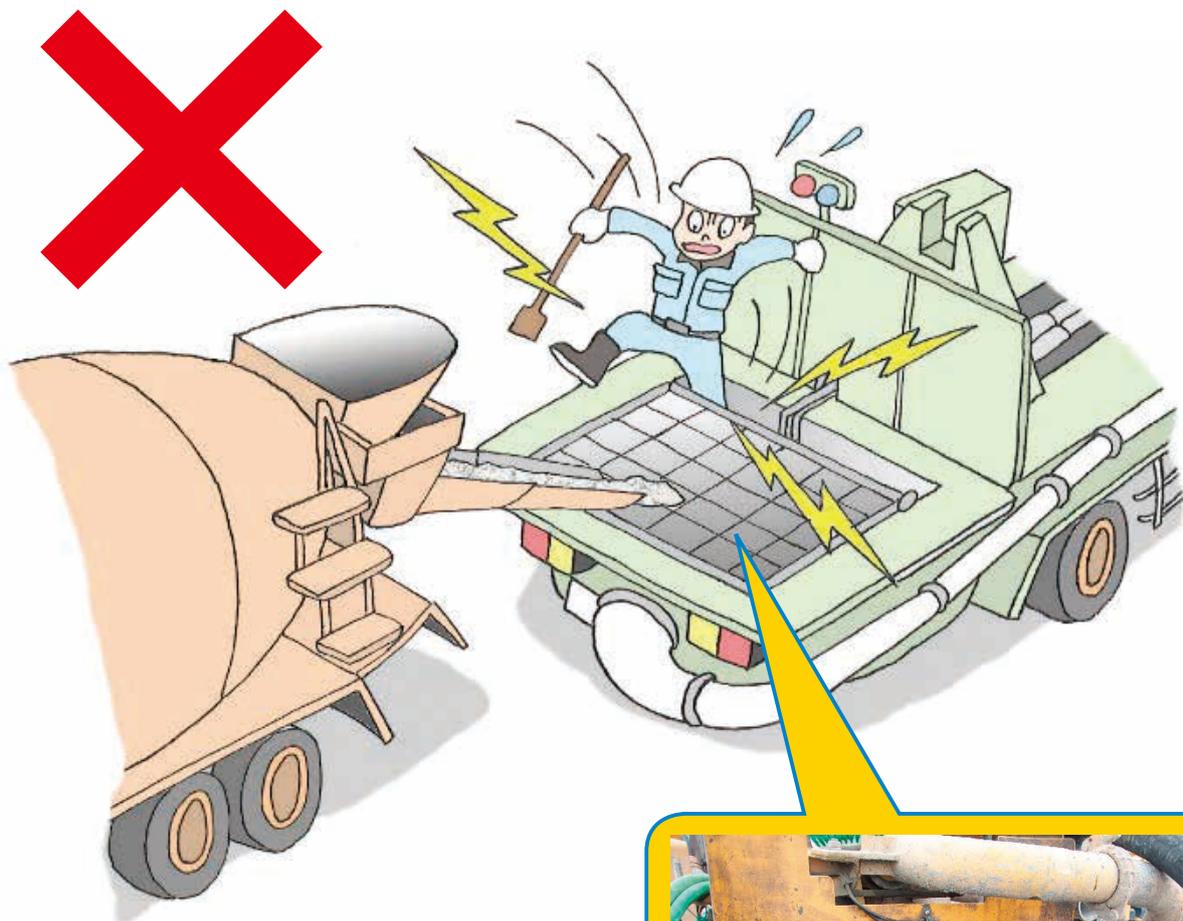
生コン車(トラックアジテータ)の誘導、および生コン車のシュートの取り扱いは、生コン車とポンプ車との間に挟まれるなどの重大災害を引き起こすおそれがあるため、行ってはいけません。誘導は専門の誘導員が行います。



生コン車を誘導中にコンクリートポンプ車との間に挟まれた災害例

(3) ホップスクリーンの上で作業は行わない

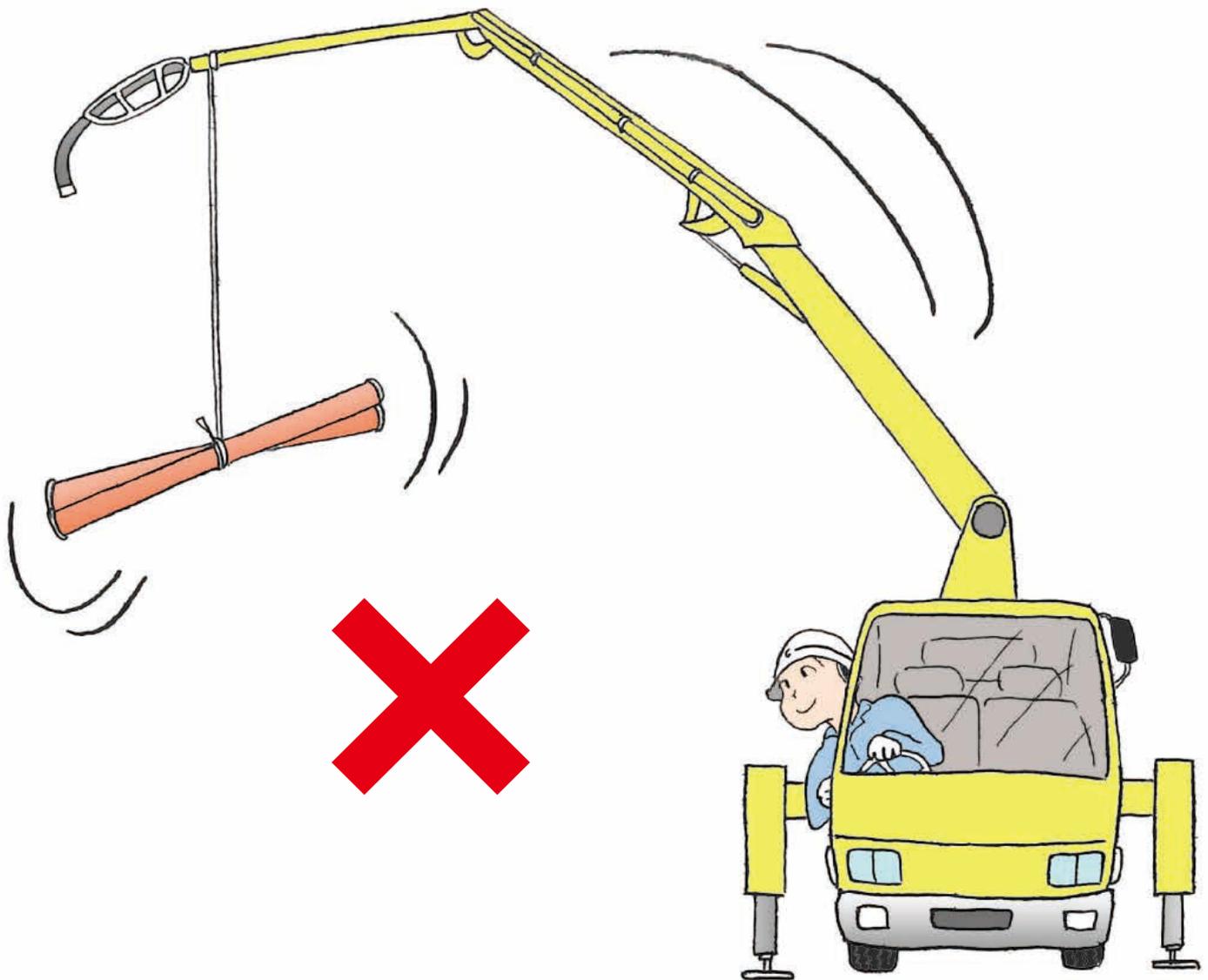
ホップスクリーンの上に乗ると、スクリーンのすき間から足をホッパの中に落として、アジテータ（かくはん羽根）に巻き込まれるおそれがあるため、ホップスクリーンの上では作業を行ってはいけません。



ホップスクリーンのすき間から足を落として巻き込まれた災害例

(4) ブームの用途外使用の禁止

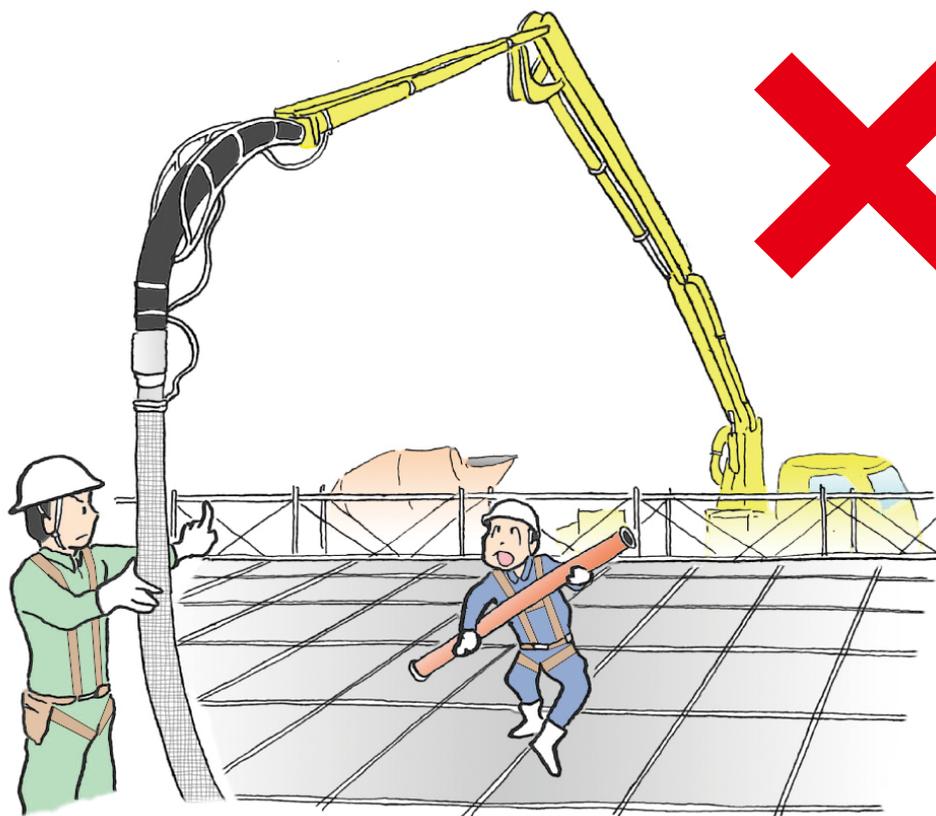
■ ブームで輸送管や機材をつり上げるなどすると、ブームに負荷がかかり折損の原因となるおそれがあります。コンクリートポンプ車の主たる用途以外にブームを使用してはいけません。



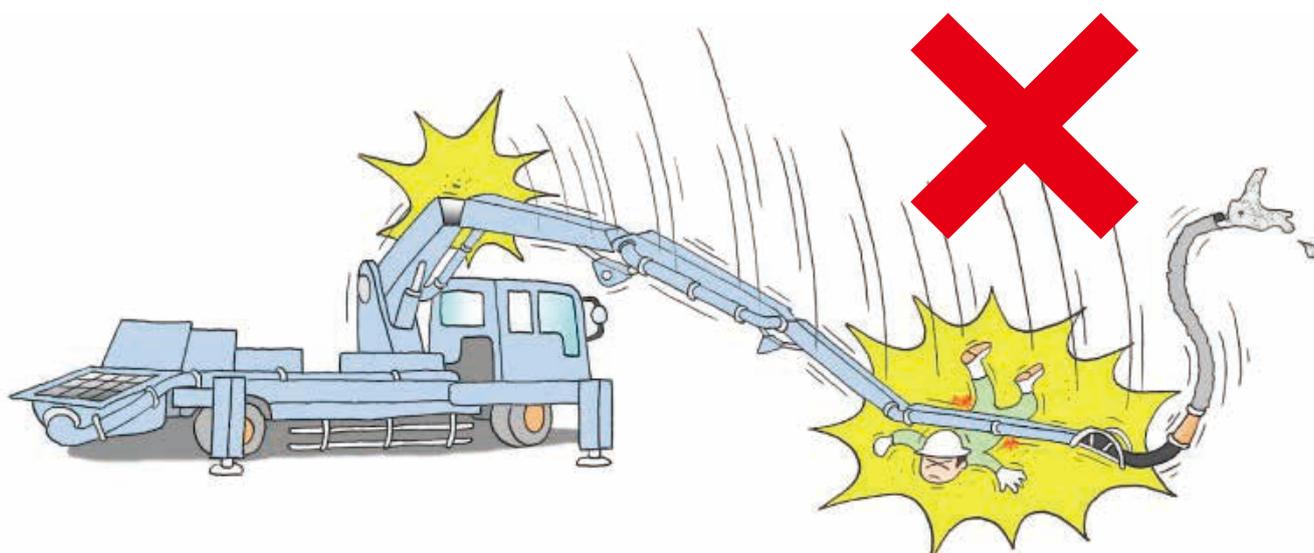
ブームの用途外使用の禁止

(5) ブーム直下での作業の禁止

ブームの直下には、作業員などを立ち入らせてはいけません。ブームが折損したときに、下で作業している人を事故に巻き込むおそれがあります。



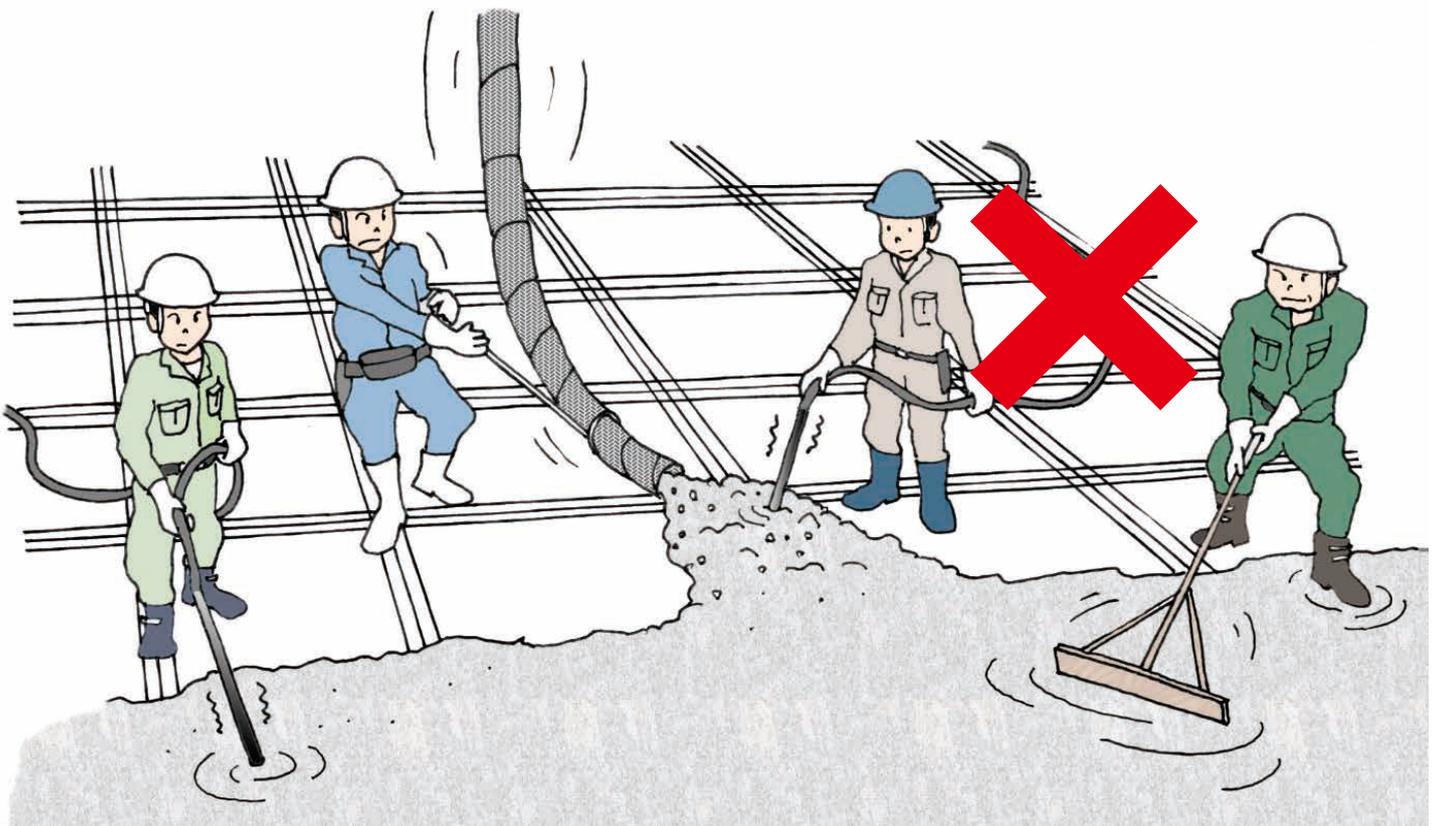
ブーム直下での作業の禁止



ブーム折損の事故の例

(6) 無理なスピードで作業をしない

無理なスピードでの圧送作業は、輸送管の破裂やコンクリートの飛散などの事故につながるおそれがあります。コンクリートの打込み・締固めのスピードに合わせた作業を心掛けてください。

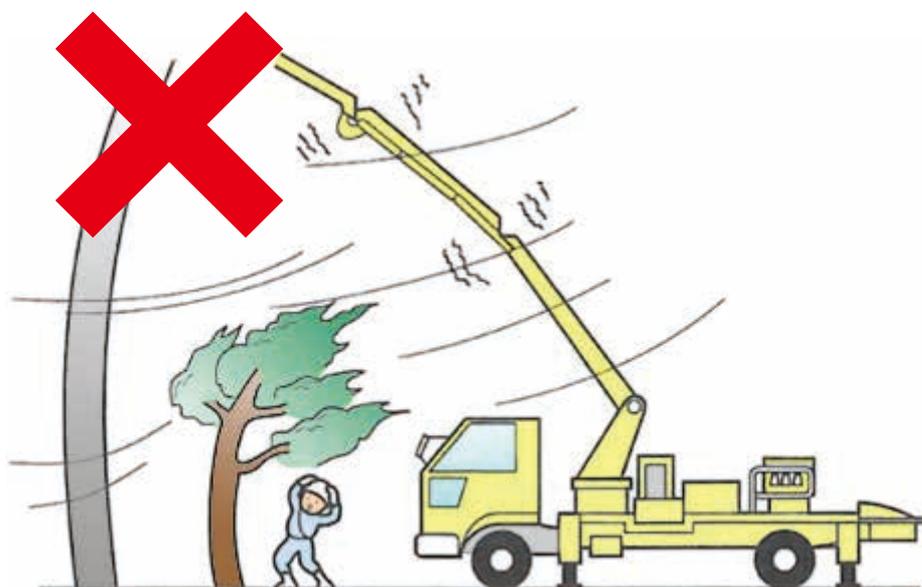


打込み・締固め作業のスピードに合わせた圧送作業

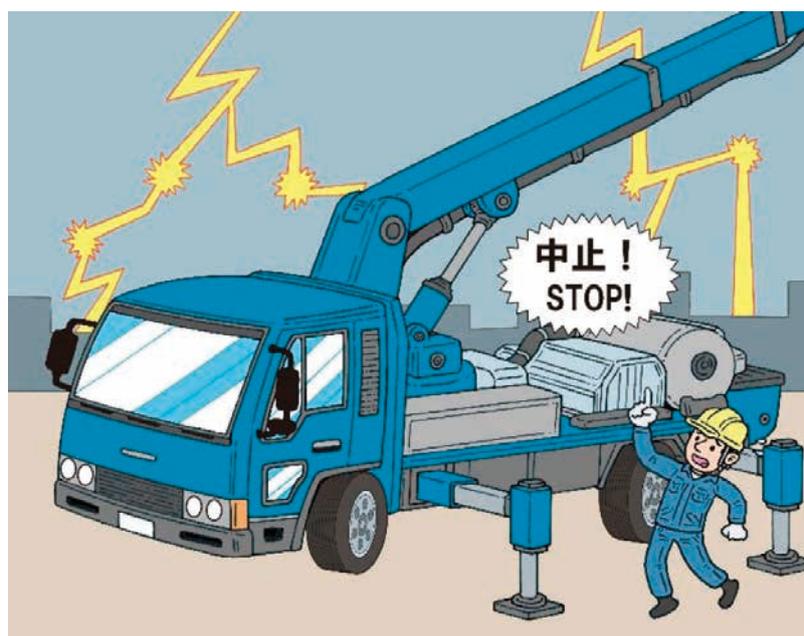
(7) 強風・落雷のときのブーム作業の注意

10分間の平均風速が10m/秒以上、もしくは最大瞬間風速が16m/秒以上の強風のときはブームを使用してはいけません。

また、落雷のおそれがあるときは、感電災害を防ぐため、作業を中止してブームを折りたたみ格納してください。



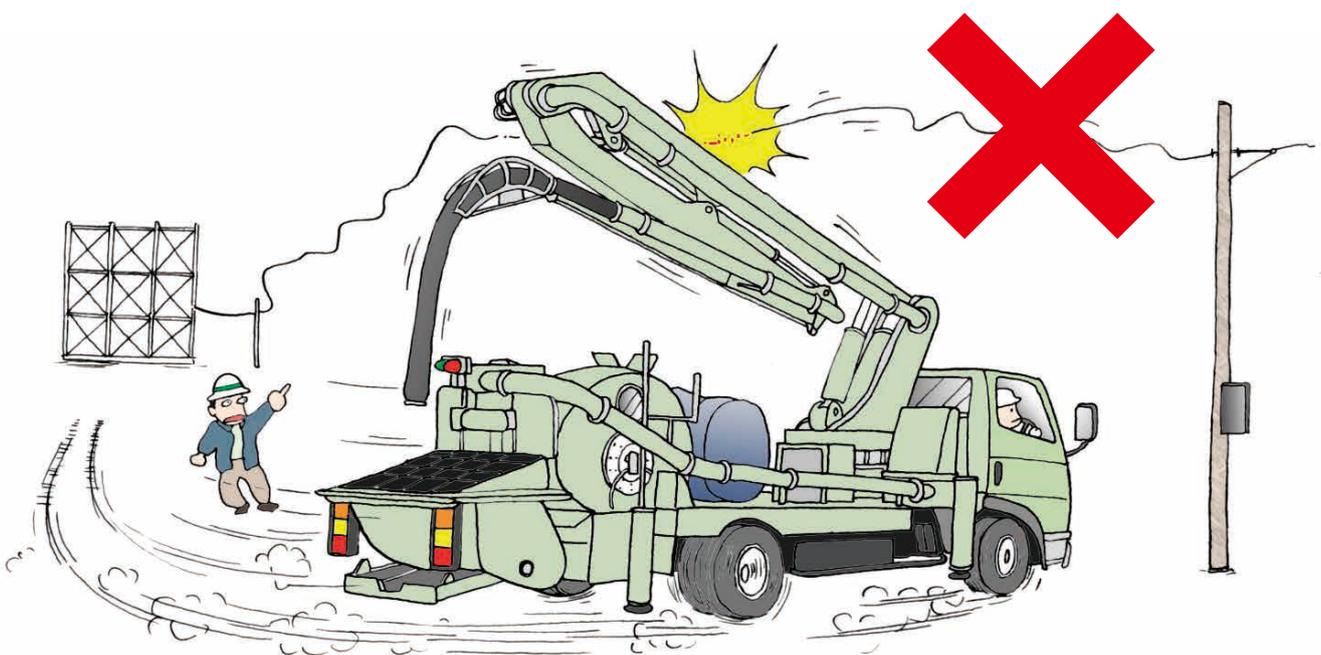
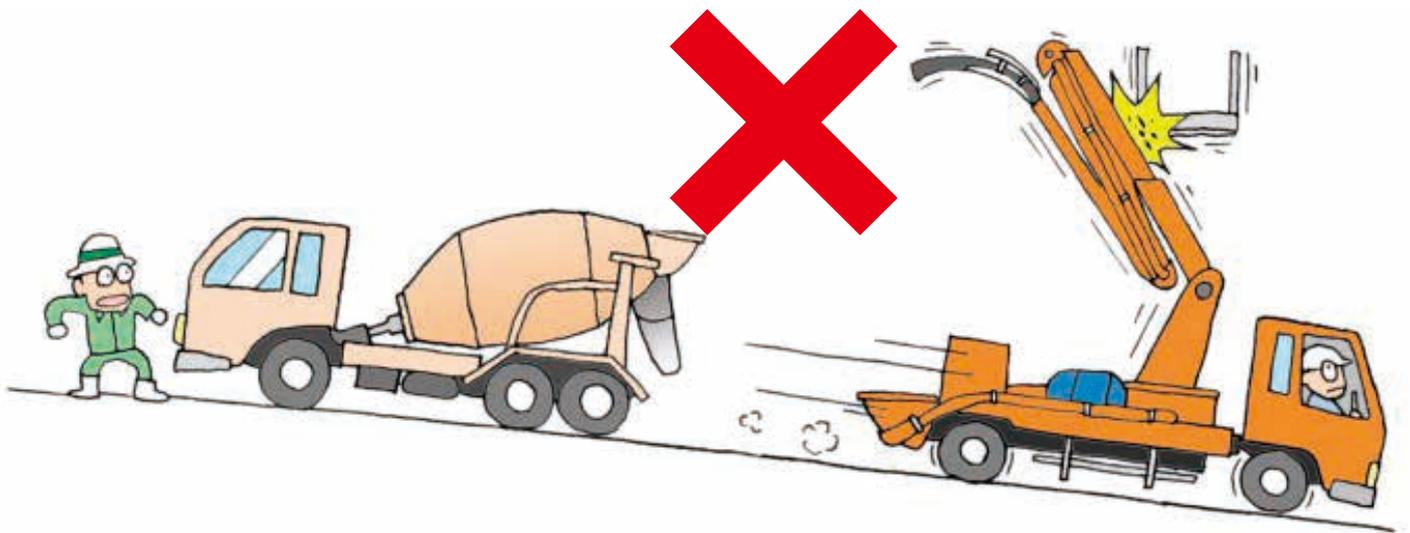
強風のときのブーム作業の禁止



落雷のときのブーム作業の禁止

(8) ブームとアウトリガーを格納して移動する

現場内でコンクリートポンプ車を移動するときは、現場内の仮設物や架空線との接触事故を防ぐため、ブームは完全に格納し、アウトリガーは完全に格納して、ロックピンやチェーンなどの飛出し防止装置を確実にかけてから移動してください。



ブームを格納せずに走行したことによる接触事故の例